

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 3月 13日

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|---------------------|-----------|---------------|
| 事業所番号 | 4271400980 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 南有会 | | |
| 事業所名 | 社会福祉法人 南有会 グループホーム望 | | |
| 所在地 | 長崎県南島原市南有馬町丁 306-1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成 24年 1月 13日 | 評価結果市町受理日 | 平成 24年 3月 19日 |

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|--------------|--|
| 基本情報リンク先 URL | |
|--------------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|---|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構 |
| 所在地 | 〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所 1階 |
| 訪問調査日 | 平成 24年 2月 29日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気・環境の中での自立支援に向けている点。
不安等を無くし安心・安全に努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

利用者が6名のアットホームな事業所であり、利用者と職員との温かで親密なやり取りには少人数であるという点ばかりではない確かな信頼関係が窺える。今年度は高齢化、重度化が進む中での新規利用者の受け入れに際し、あらためて理念に沿った支援に真摯に取り組んだといえる。「グループホーム」とは何かを考え、利用者の意を汲んで在宅での暮らしの継続とその為の自立支援、家族との関係継続の支援と一貫した姿勢がある。今までの暮らしの尊重が、ゆったりと穏やかな利用者の表情へ反映されている。終末期支援など今後取り組むであろう課題においても、そのチームワークと真摯な姿勢において期待できる。

1 自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | <p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p> | <p>職員が理念を理解出来る様、常に目につく箇所に掲示し、日々のケアに生かせるようにしている</p> | <p>在宅での生活を出来る限り継続していくことをまず念頭において、支援している。お仕着せのない自然体での生活を送ることで自身の居場所として安心していただくようにしている。</p> | |
| 2 | 2 | <p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p> | <p>近所の商店へ入所者と共に利用したり、近隣の行事(お祭り等)に参加するなど地域の方との交流を心がけている</p> | <p>ほぼ毎日のように近隣の方がたずねてこられ、事業所の行事の折にはボランティアの演奏で、参加頂けるなど地域との交流がなされている。次年度は懸案の子供達との交流を具体化していきたいとしている。</p> | |
| 3 | | <p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p> | <p>地域の方々からの認知症についての相談等を随時受け付けている</p> | | |
| 4 | 3 | <p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>2ヶ月に1回会議を行い参加者の個々の立場から意見を出してもらい、サービスの向上に反映している今年から民生委員の方も参加してもらっている</p> | <p>「敬老会」など行事と合わせて開催した会議においては省みて意見、指摘を頂いたり、問題提起し課題抽出する意義ある会議がなされている。家族代表は1年毎に依頼し全員に参加頂けるよう配慮している。</p> | |
| 5 | 4 | <p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p> | <p>市町村の行事には積極的に参加している</p> | <p>運営推進会議の参加メンバーである行政担当者とは話しやすい関係であり、他事業所に関する情報、様々な助言など頂いている。今年度は寄付による福祉車両が提供されたことから報告も行っている。</p> | |

| | | | | | |
|----|---|---|--|---|--|
| 6 | 5 | <p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>身体拘束は行わないケアを職員全体で実施している</p> | <p>拘束のない適切なケアの為に職員のストレスケアと正しい知識の取得を挙げ、職員が持ち回りで講師を務める内部研修にて学び、行動抑制する以前の基本的な認知症ケアの大切さを確認している。</p> | |
| 7 | | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ざれることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>職員全員が虐待に対する知識や理解を深められるよう勉強会を行っている</p> | | |
| 8 | | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p> | <p>権利擁護に関する制度について職員はまだ周知不足である為、勉強会や研修等を通して熟知する必要がある</p> | | |
| 9 | | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>利用者家族が理解し納得して頂けるよう、時間を取り十分な説明をするようにしている</p> | | |
| 10 | 6 | <p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>ホーム内に意見箱を設置している 又、利用者家族がいつでも気軽に要望を言ってもらえるよう努めている 意見や要望があった際には、職員間での話し合いの場を設け反映できるよう心がけている</p> | <p>アットホームな事業所ということもあり、訪問、面会時には家族とは報告、雑談の中で或いは施設長が書類を届ける為に自宅訪問し、家族からの意見聴取の機会を努めて作っているが、意見、要望はあまり聞かれない。</p> | <p>開設12年目を迎え、利用者、家族の満足度をはかり更なるサービスの向上へ繋げたい気持ちは明らかであることから、アンケート等取り組みを再検討されて昨年度に引き続き試みていかれることに期待したい。</p> |
| 11 | 7 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>月に1回のミーティングを利用し、個々の職員の意見や提案を聴く機会を設けている</p> | <p>職員は定着しており、施設長とは気心も通い関係に意見を伝えやすい関係である。行事等に関する提案など、女性職員ならではの気遣いがある点を認め、積極的に採用している。</p> | |

| | | | | |
|--------------------------|--|--|--|--|
| 12 | <p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p> | <p>各自の向上心を推進し、職場環境や条件の整備に努力している</p> | | |
| 13 | <p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>法人内外の研修案内をいつでも閲覧できるように回覧し受けたい研修がある場合は、勤務状態を調整しながら受けられるよう努めている</p> | | |
| 14 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p> | <p>グループホーム連絡協議会に加盟しており、協議会を通じての勉強会や色々な情報交換の場を持っている</p> | | |
| <p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> | | | | |
| 15 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>入所前に本人との面談を行い、出来る限り本人の要望等を聴き、入所後の援助に反映できる様努めている</p> | | |
| 16 | <p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>入所前に家族との面談や連絡を取り本人と家族の要望に添えるように努めている</p> | | |
| 17 | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>入所前の面談、聞き取りなどを行い必要としている支援を第一に考え提供出来る様になっている</p> | | |

| | | | | | |
|--------------------------|---|---|---|---|--|
| 18 | | <p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>職員が本人を理解し、良い関係を築き、支えていけるよう努めている</p> | | |
| 19 | | <p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | <p>家族と利用者が、これまで以上に良い関係を築ける様必要時に職員が間に入り、本人を支えられる様努めている</p> | | |
| 20 | 8 | <p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | <p>本人が利用していた商店や馴染みの場所に同行し、入所前の関係性をできる限り保てる様努めている</p> | <p>友人の訪問もあり、地域で会う職員へ利用者の安否を尋ねられる方もおられる。家族との関係継続支援にも努め、家族と会いたい、家に帰りたいという気持ちを尊重しさりげなく訪問の機会も作っている。</p> | |
| 21 | | <p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p> | <p>利用者が孤独を感じない様に職員が利用者間に入り、調整役をするよう心がけている</p> | | |
| 22 | | <p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p> | <p>サービス利用終了後も必要に応じて情報提供を行い、家族、本人との継続的な関係が保てる様努めている</p> | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p> | <p>常に本人がどうしたいのかを頭に置き、本人の立場で考え、希望や意向を実現できる様努めている</p> | <p>意思疎通が難しい方もおられ非言語的コミュニケーションを大切に、察知する力を心がけている。夜勤専任職員と日勤職員とは申し送りや会議、記録において情報共有を密にしている。</p> | |

| | | | | |
|----|--|---|--|--|
| 24 | <p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>本人の生活歴を、家族の協力を得ながら把握できる様努めている</p> | | |
| 25 | <p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p> | <p>本人の意志を大切にしながら、心身の状態を把握し、個人が生き生きとした生活が出来の様努めている</p> | | |
| 26 | 10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>介護計画を作成するにあたり、職員間での意見交換を活発に行い、より良い介護計画の作成に努めている 家族の要望等、反映出来る様にしている</p> | <p>プランにおける支援内容から抜き出したキーワードに沿って詳細に記録している。質の高いケアの提供の為に誰にでも理解しやすい記録を心がけ、更に書式も改良の方向へ向けて検討している。</p> | |
| 27 | <p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>毎日の介護記録をもとに、職員全員で情報を共有している</p> | | |
| 28 | <p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>必要に応じて支援内容等を変更し、利用者に必要なサービスを提供できる様努めている (通院介助や行きたい場所など)</p> | | |

| | | | | | |
|----|----|--|---|--|--|
| 29 | | <p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>地域の方との関わりを密にし、地域の中に自然に入っていきける様、運営推進会議などを利用し、支援出来る様心がけている</p> | | |
| 30 | 11 | <p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>本人と家族の希望を優先できる様、協力医と相談しながら、必要に応じて専門医への受診を行っている</p> | <p>事業所開設当初より、職員による受診支援をおこなっており、受診結果は随時電話にて家族へ報告している。主治医の往診もあり、安心が得られている。</p> | |
| 31 | | <p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>日頃より、心身の状態や医療面での相談を行い、助言や指示を仰いでいる</p> | | |
| 32 | | <p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院時の情報提供を行い、1日でも早く退院できる様、入院時も面会や関係者からの話を聞くなど、出来る事を行っている</p> | | |
| 33 | 12 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>家族との話し合いの場を持ち、家族や本人の意向を反映出来る様心がけている</p> | <p>現在まで事業所内での事例はないが、ターミナルケアへ取り組む職員の積極的姿勢はあり、内部研修において研鑽を積んでいる。医療に関する見極めの必要性、家族への協力依頼も常に考えている。</p> | |
| 34 | | <p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>急変時の対応が素早く出来る様、訓練や勉強会等の機会を増やすよう努めている</p> | | |
| 35 | 13 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>年2回の消防署立会の避難訓練を行っている 地域分団との連携の確認など行っている</p> | <p>職員の周知徹底をはかる為の反復を目的とした自主訓練や消防団を含めた地域連携に継続して努めている。地域貢献として非常時の拠点のひとつとなればとの思いから、AEDの設置も希望が叶えばと考慮している。</p> | |

| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
|-----------------------|----|--|--|--|
| 36 | 14 | 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 本人の意思を尊重し、プライバシーを守れる様にさりげないケアを心がけている | 言葉かけ、対応はその方に合わせて「馴染んだ」ものをと心がけ、尊厳に配慮しつつ「落ち着く」「喜ばれる」ことを第一義としている。家族の立場になっての気持ちを忘れないよう努めている。 |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 自己決定がスムーズにできる様、選択肢を増やし、本人が満足出来る様働きかけている | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 1日の大まかな流れはあるが、利用者のペースに合わせて起床時間などを変えたりするなど、個別に対応している | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 本人の意思を尊重し、一人一人の意見を取り入れている 近所の美容室を利用したり、又美容師の方に訪問して頂くなど個別に対応している | |
| 40 | 15 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 個別に嗜好調査を行い、本人の好き嫌いや量などを把握している 又職員と利用者が一緒にテーブルに着き、楽しく食事が出る様心がけている 簡単な調理や盛り付け等一緒に行っている | その方の嗜好と共に食習慣も尊重し、盛り付けにも配慮している。野菜を多く摂って頂く工夫も献立に取り入れている。食事中ももちろん、食後のゆったりした職員との団欒が好ましい雰囲気である。 |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分摂取表や食事チェック表を毎日記入し、入居者の摂取状態を把握している 又、嗜好調査を行い参考にしている 毎日の献立表を定期的に栄養士に提出し、アドバイスをもらっている | |

| | | | | | |
|----|----|---|---|--|--|
| 42 | | <p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p> | <p>利用者が出来るところはやってもらい、出来ないところ(洗い残しや声掛け等)を介助している</p> | | |
| 43 | 16 | <p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p> | <p>排泄記録を元に、排泄パターンを把握し、トイレ誘導の時間などを個別に設定している</p> | <p>日中は時間誘導で声かけしトイレでの排泄を促している。入居時は排泄が困難で失敗が多かったが、成功した時の職員の言葉かけを励みに徐々に良い方向へ向かわれている。</p> | |
| 44 | | <p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p> | <p>排泄パターンを個別に把握し、又飲み水や食事量のチェックを行い、排泄がスムーズに行えるよう、努めている</p> | | |
| 45 | 17 | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p> | <p>入りたい時に入れる様、支援している</p> | <p>最低でも週2,3回は入浴いただき、汚染時などは随時対応して清潔保持に努めている。全員介助が必要であり夜間の入浴は難しいが、時間帯など柔軟に対応するようにしている。</p> | |
| 46 | | <p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p> | <p>日中の活動時間を増やし、自然と入眠出来るような環境作りに努めている</p> | | |
| 47 | | <p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | <p>毎日の服薬チェック表への記入を行っており、処方箋もファイルにまとめ、職員全員がいつでも確認出来る様にしている</p> | | |

| | | | | | |
|----|----|--|---|---|--|
| 48 | | <p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p> | <p>一人一人の得意な事柄を把握し、家事などに生かしている</p> | | |
| 49 | 18 | <p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p> | <p>心身の状態に応じて、いつでも屋外へ外出出来る様に支援している</p> <p>家族の方との外出など、柔軟に対応している</p> | <p>今期、寄付による車両が新たに導入できたことで、外出を積極的に増やし、身体状況で時間など物理的に厳しくなっているが楽しむ機会を多くしていきたいとしている。</p> | |
| 50 | | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>家族と話し合い、本人持ちの財布を持たせ、少額の現金を入れ、本人が使用したい時にいつでも使用出来る様にしている</p> | | |
| 51 | | <p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>本人の意思を尊重し、家族の協力を得て、電話や手紙などのやり取りが出来る様に行っている</p> | | |
| 52 | 19 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>利用者が馴染んでいる場所や好む場所などを把握し、気持ちよく使ってもらえるよう心掛けている</p> <p>又、玄関や居間などに季節の花などを飾り、四季を感じてもらえるよう心掛けている</p> | <p>既存の建物にあった和風の趣きの良さを残した広い和室と見守りが行き届く台所、ダイニングは終日心地よく過ごせる空間である。玄関は現在の車椅子対応のスロープをより安全にと考慮し、改善を検討している。</p> | |
| 53 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>本人が好んで使用する場所などは、職員が把握し、いつでも気持ち良く使用出来る様心掛けている</p> | | |

| | | | | | |
|----|----|--|--|---|--|
| 54 | 20 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 自宅で使用していた馴染んでいる家具などを持ち込んでもらい、本人が落ち着いて生活出来る様心掛けている | フローリングの部屋と以前の造作をそのまま活かした和風の畳の間があり、ベッド、布団を好みで選んで頂き、持ち込みの品と合わせて各人が寛げるしつらえがなされている。 | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 利用者が安全に生活出来る様、その時の情状況に応じた環境整備を行っている (手摺の増設や案内板など) | | |

アウトカム項目

| | | | |
|----|---|--|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25) | | 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38) | | 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37) | | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31) | | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19) | | 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |

| | | |
|----|--|----------------|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19) | 1, ほぼ毎日のように |
| | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | 3, たまに |
| | | 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | 1, 大いに増えている |
| | | 2, 少しずつ増えている |
| | | 3, あまり増えていない |
| | | 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12) | 1, ほぼ全ての職員が |
| | | 2, 職員の2/3くらいが |
| | | 3, 職員の1/3くらいが |
| | | 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | 1, ほぼ全ての家族等が |
| | | 2, 家族等の2/3くらいが |
| | | 3, 家族等の1/3くらいが |
| | | 4, ほとんどいない |